

「今年は芽がそろっていて
昼夜の温度差が大きく、
風味豊かなお茶に仕上がった」と
多くの茶農家の皆さんが話します。
昨年は良質な茶産地の誇りをかけ、
第67回全国茶品評会において
14回目の産地賞に輝きました。
川根茶魂の心意気をお伝えします。

献茶式



今年の茶業盛況と より一層の 振興を祈念して

【Special Issue】
Kawanecha Spirit



「今年の茶業盛況と、より一層の振興を祈念する式典用の献茶だから心を込めて揉んだよ」と笑って話してくれた県茶手揉保存会川根支部に所属する皆さん。

4月20日、川根本町茶業振興協議会（会長・鈴木敏夫町長）主催の献茶式が、音戯の郷中庭で挙行されました。生産者や茶商ら約100人が出席し、鈴木町長は「賑わいを取り戻す、新茶の時期がやってきました。茶業発展のため、熱い想いを関係者一丸となって発揮していきましょう」とあいさつしました。

献茶した手揉み茶は、前日農林業センターで摘採し、県茶手揉保存会川根支部会員により丁寧仕上げられ、その茶葉は細く針のようで見事な出来栄え。呈茶を受けた皆さんも、風味豊かな味わいに驚いていました。